

1 概況

各地区の摘採は、冷蔵網では1～4回目、秋芽網では4～7回目を実施しています。栄養塩は、知多東岸地区では、「少ない」状況が先週から継続し、島嶼部など一部の漁場では網上げが進んでいます。知多西岸地区の北中部は「やや多い～やや少ない」、南部は「少ない」状況となりました。西三河地区は全域で「多い」状況でした。植物プランクトンは知多西岸地区や知多東岸地区の一部の漁場で増加しました。
のり漁期中も中盤から終盤に差し掛かってきました。あかぐされ病の拡大防止のため、干出等により網管理を徹底し、網の寿命を延ばすよう努めてください。

2 気象・海況

<水温> 2月7日		<水温> 2月8日		<潮位偏差> 2月7日		
2～3号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	8.4 °C	漁生研 (-1.0m)	10時水温	10.4 °C	
	平年差	+1.2 °C		平年差	+0.9 °C	
				名古屋港	日平均偏差	+3 cm
					5日平均偏差※	+3 cm

※2月3日～7日までの平均

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西岸地区	北中部: やや多い～やや少ない、南部: 少ない	なし	植物プランクトンは散見～少ない
知多東岸地区	少ない	なし	植物プランクトンはほとんどいない～少ない
西三河地区	多い	なし	植物プランクトンは少ない
東三河地区	本年度の調査終了		

※栄養塩基準(単位: $\mu\text{g/L}$) 多い: 121～、やや多い: 81～120、やや少ない: 41～80、少ない: ～40
 ※植物プランクトン基準(単位: 細胞/mL) 多い: 10,000～、やや多い: 5,000～10,000、少ない: 1,000～5,000、散見: 100～1,000、ほとんどいない: ～100

<気温動向の予測> (気象庁週間天気予報より 予報期間: 2月9日から2月15日まで)

今後1週間	最高気温と最低気温はともに、平年より高い日が多く、期間の後半は最高気温がかなり高くなる日が続くでしょう。
-------	--

3 クロノリ養殖状況

地区	摘採回数	1網当たりの生産枚数	製品	食害	病障害 その他
知多西岸地区	冷蔵: 1～4回 一部秋芽4～5回目	300～1,200枚	色調は概ね 低下傾向	一部でカモ	あかぐされ病は小康状態
知多東岸地区	秋芽: 5～7回 一部冷蔵2回目	600～1,300枚	色調は低調だが、 一部で回復の兆し	一部で魚	島嶼部では2割程度の 網が上がった
西三河地区	冷蔵: 3～4回	500～1,000枚	概ね良好	概ねなし	一部であかぐされ病 散見
東三河地区	秋芽: 4～5回	1,000～2,000枚	概ね良好 やや色調低下	一部でカモ	病障害なし

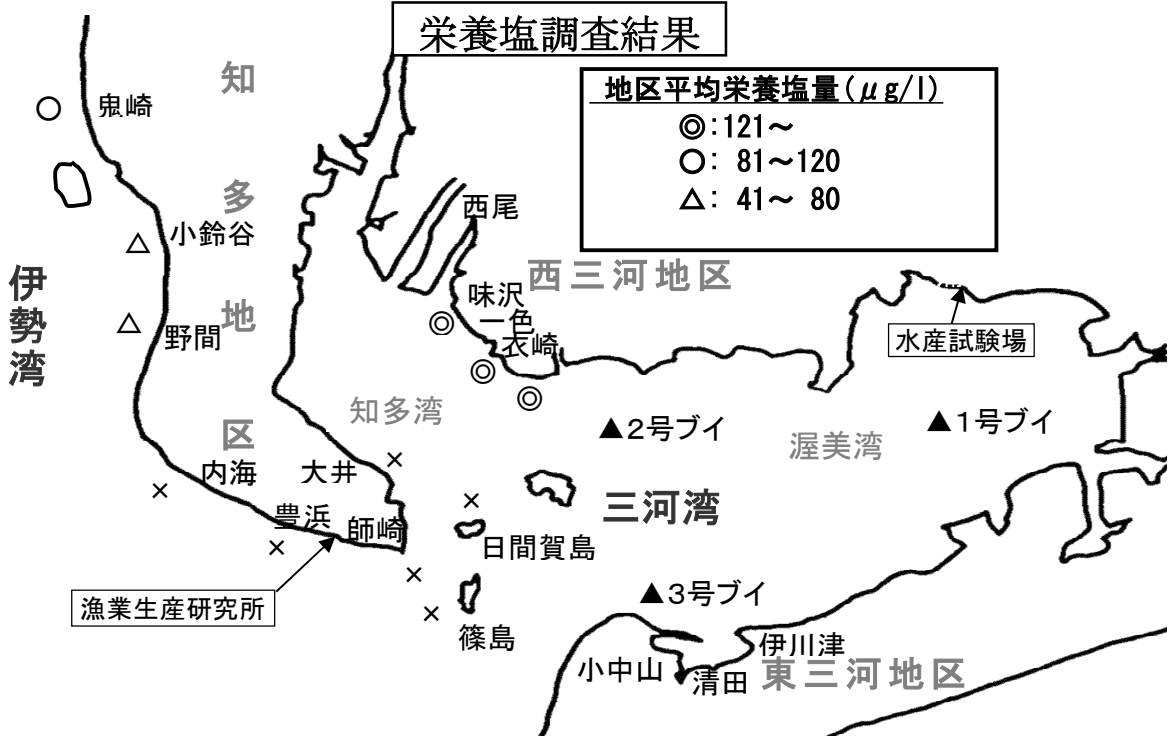
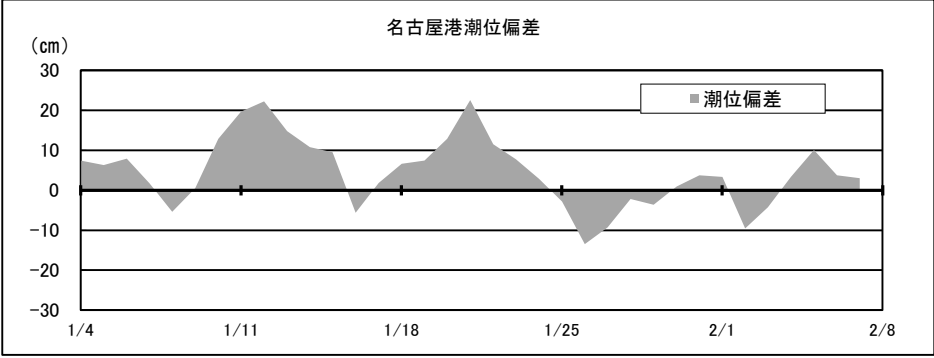
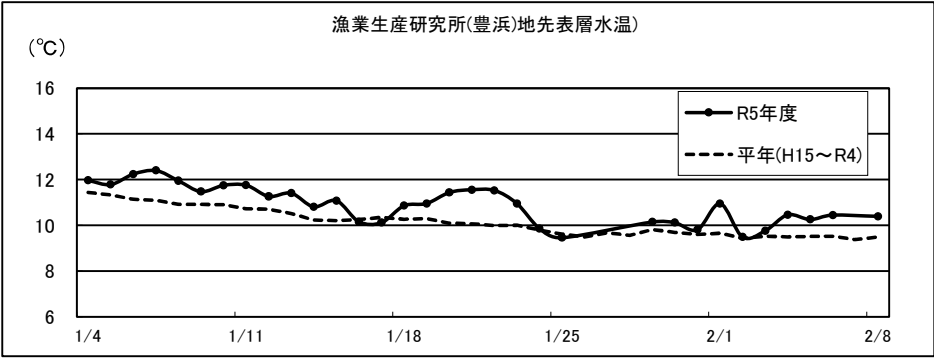
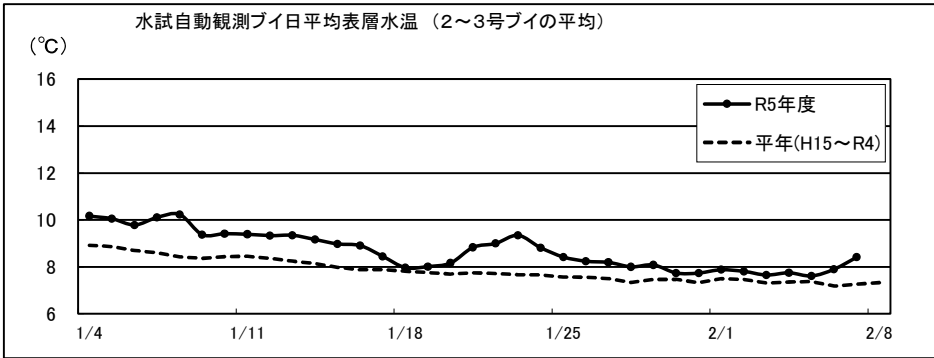
4 今後の管理

- あかぐされ病が発生している漁場では、早期摘採などの網管理により被害の軽減・防止に努めること。
- 製品の選別及び異物の検査を厳正に行うとともに、衛生管理に努めること。

水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することが出来ます。
 水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ
 次回は2月15日(木)発行予定です。

伊勢湾・三河湾海況データ



栄養塩調査日：知多、西三河：2月8日（木）、東三河：調査終了
 調査機関：知多のり研究会、西三のり研究会、東三のり研究会